

日立グループとの情報交換会を開催しました

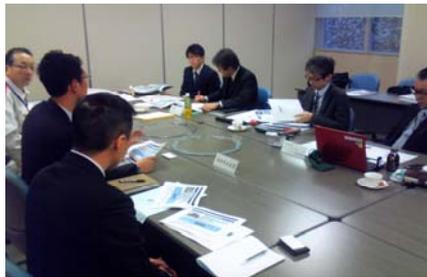
エネ研では、原子力産業への参入を目指す福井県内の企業を支援するため、日立グループ3社のご協力を得て、平成26年2月14日に情報交換会を開催しました。

この情報交換会は、エネルギー研究開発拠点化計画に基づく「ふくい未来技術創造ネットワーク推進事業」の一環として開催しているもので、今年度で7回目になります。

今回は、参加企業にプラントメーカーのニーズを知りたいとの要望が多くあったことを踏まえて、1月24日に敦賀市きらめきみなと館にて、日立グループによる事前説明会を開催しました。また、原子力プラント設備や機器などのほか、「原発事故の収束・復旧作業や将来の廃炉に備えた対応等の分野」に関する情報交換を新たに行いました。



日立グループによる事前説明会(1/24)



N社（嶺南）



S社（嶺北）

参加企業は、県内の機械・繊維・通信・建設業など12社で、うち7社が嶺南の企業でした。各企業は、日立グループ3社の担当者とそれぞれ個別に面談し、自社の製品や技術力などを熱心にアピールしていました。

原子力保修技術技量認定講習・試験(平成 25 年度結果)

福井県原子力保修技術技量認定協議会（事務局：エネ研）は、原子力保修業務従事者の技量レベルを評価・認定するため、「福井県原子力保修技術技量認定制度」に基づき、技量認定講習・試験を実施しています。

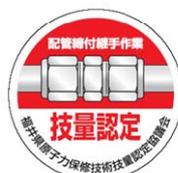
平成25年度は、昨年8月と今年1月に実施し、264名の方が合格されました。

<平成25年度結果>

認定区分	受験者数	合格者数
あと施工アンカー作業	145名	137名
配管締付継手作業	96名	86名
電線結線・端末処理	49名	41名
合計	290名	264名



あと施工アンカー作業 実技試験の様子



合格者には技量認定証を付与

<お問い合わせ先>

福井県国際原子力人材育成センター
国内人材育成グループ
TEL:0770-24-7274 (直通)
FAX:0770-24-7288
E-mail:jinzai@werc.or.jp

海外研究者の受入れが終了しました(原子力研究交流制度)

平成26年1月29日、文部科学省の原子力研究交流制度により昨年9月から4ヶ月半の間、エネ研の研修生として受け入れていたバングラデシュ原子力委員会の原子力科学技術研究所に所属するダス・アナンダ・クマル氏 (Dr. DAS Ananda Kumar) の修了式を行い、旭 信昭理事長が修了証を交付しました。

ダス氏は、研究開発部エネルギー材料グループの石神龍哉主任研究員の指導のもと、原子炉を構成する材料として使用されているステンレス鋼の劣化について、中性子の代わりにイオンビームを使用して評価する手法の研究を行いました。

この研究では、試料の作製、硬さ測定、結晶構造の分析などを行い、金属材料の劣化の評価に役立つ情報を収集することができました。

ダス氏は、母国の原子力科学技術研究所に戻り、材料研究に従事することになりますが、エネ研で得られた多くの知識は、今後バングラデシュでの原子力分野の研究に、大いに役立つものと期待されます。



修了証交付式



実験を行うダス氏

第2回支援制度活用セミナー開催内容が決まりました

エネ研では、支援制度を広く県内企業に活用いただくため、支援制度の概要説明と利用企業の成果報告を行う「第2回支援制度活用セミナー」を開催します。多数のご参加をお待ちしております。

詳細につきましては、エネ研ホームページをご覧ください。企画支援広報部(☎0770-24-7273)までお問い合わせください。

(日 時) 平成26年3月11日(火)13:30~16:40

(場 所) 福井県若狭湾エネルギー研究センター 第1研修室

- (内 容)
1. 特別講演「ホクコンの現状と技術開発について」(株)ホクコン
 2. エネ研との共同研究成果報告「イオンビームによる園芸植物の新品種開発」福井シード(株)
 3. 支援制度説明 企画支援広報部、産業育成部、敦賀商工会議所、福井県
 4. エネ研の新技术・新製品開発支援制度活用企業の成果報告
・(株)タナカ ・(株)プラントテクノス ・(株)フナイワークス ・(株)室次
 5. 敦賀商工会議所 経営支援企業の成果報告「昆布シートのスタンダード化」ヤマトタカハシ(株)

(申込方法) e-mail:hokokoku@werc.or.jpへ「企業名」「役職」「氏名」「電話番号」を明記の上、お申し込みください。

当日のご参加も歓迎いたします。

